

森に“にぎわい”

5万人の森公園オープン

北山町の市立五條文化博物館(ごじょうぼうむ)隣接地に、5万人の森公園がオープンし、10月14日、市制50周年記念として同公園のオープニングセレモニーが行われ、たくさんの市民が訪れました。

セレモニーではくす玉割りでオープンを祝い、続いて園名板の除幕式、太鼓や保育園児、中学生による楽器演奏が行われました。この園名板は市内のボランティア9グループが共同で手作りのものを組み合わせたもので、縦約2.5メートル、横約3メートルで、県道西佐味中之線町沿いの公園入口に掲げられます。

また、この日は園内でフリーマーケットが開催され、100のブースに出店。飲食物を扱う模擬店も登場し、訪れた市民は思い思いの品を買い求めています。

この公園は平成16年度から整備が進められていたもので、敷地面積は約8万4千平方メートル、展望台や芝生広場、バーベキューなどが行える炊事施設、炭焼き小屋が設けられ、名称は将来の計画人口にちなんで名付けられました。



手作り園名板の除幕



模擬店



フリーマーケット



笑顔の出席者

笑い声があふれた1日

敬老会に1,100人が出席

市制50周年記念五條市敬老会が9月28日中央体育館で行われ、約1,100人が出席しました。

この会は市内全域の満75歳以上の皆さんを招待し、長寿をお祝いするとともに、長年のご苦勞に敬意と謝意を表すために行われ、今回は午前、午後の部を設け、中央体育館で開催されました。

会では今年米寿を迎えた122人の方にお祝いの品が贈られました。また演芸なども行われ、出席者は楽しい時間を過ごしました。

パワーを社会貢献に

シルバー人材センター社会奉仕活動

(社)五條市シルバー人材センターは、10月1日から30日までの「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間」に先がけ、9月30日新町の史跡公園で草刈り、落ち葉の清掃など社会奉仕活動を行いました。この活動には、役員、会員をはじめ新町地区自治連合会会員122人が参加し、清掃活動に汗を流しました。



史跡公園で清掃活動を行う参加者